

静岡産科婦人科学会雑誌 1巻1号 巻頭言

メタデータ	言語: jpn 出版者: 静岡産科婦人科学会 公開日: 2016-04-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 金山, 尚裕 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/2630

静岡産科婦人科学会雑誌発行にあたって

静岡産科婦人科学会 会長 金山尚裕

平成23年度には日本産科婦人科学会の公益法人化に伴い、日本産科婦人科学会静岡県地方部会から静岡産科婦人科学会となりました。日本産科婦人科学会の代議員選挙や本部の会費の徴収の委託業務は従来通り行いますが、学術的には独立した組織となり学術団体としてより一層の充実が求められます。近年の地方部会は演題数も増加し、質問や議論も多く盛り上がってきています。しかし折角の貴重な発表が未来永劫に残る論文という形になっていないもの多くあります。研究は論文まで完結させて終了するものです。論文化されない原因として英文誌が増加し和文の論文の受け皿が減少したことも一因かもしれません。最近、産婦人科専門医の取得や産婦人科研修施設の更新に論文が必須化されました。産婦人科研修施設の施設認定には5年間に3編の論文(原著論文、症例、総説)が必要になります。また専門医の受験資格には平成25年度より筆頭著者の論文が最低1編必要になります。医師不足の静岡県で専門医の養成数を減らすことはできませんし、学会には良質の産婦人科医を誕生させる義務があります。このような状況から、静岡県に和文の論文雑誌を刊行する必要が生じて参りました。学術委員長の伊東宏晃先生を中心に作業を進め、「静岡産科婦人科学会雑誌」という電子ジャーナルという形で今回創刊号を発刊する運びになりました。「静岡に学術誌を」という長年の思いが実現することになり嬉しい限りです。創刊号よりISSN(国際標準逐次刊行物番号)を取得していることも特筆すべきことと思います。本雑誌を充実ために学会で発表した内容をどしどし投稿して下さい。開業の先生方の論文や総説も大歓迎です。我々も会員のためになるような査読をしっかりと行う所存です。本雑誌が充実すれば静岡の産婦人科医療の向上に繋がることは間違いありません。会員の皆様奮って投稿お願いします。